

2026年3月期 決算説明資料

東証スタンダード | 7746

 岡本硝子株式会社

1

2026年3月期 決算概要

P. 3

2

2027年3月期 業績予想

P. 10

1. 2026年3月期 決算概要

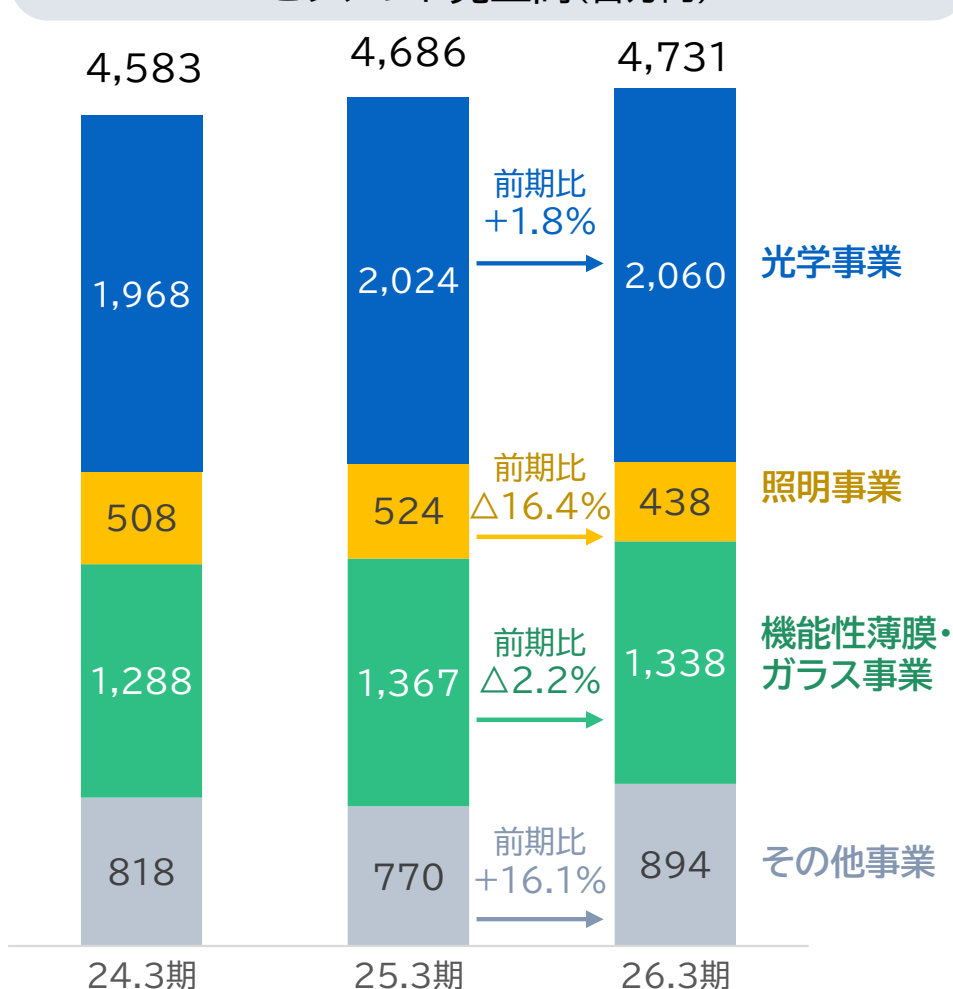
売上高は増加したが、2025年4月より稼働したフライアイレンズ生産用ガラス溶融炉の減価償却費など固定費の増加により減益となった

(単位:百万円)

	2025年3月期		2026年3月期			
	実績	構成比	実績	構成比	前期比増減額	前期比増減率
売上高	4,686	100.0%	4,731	100.0%	+44	+1.0%
販売費及び一般管理費	1,448	30.9%	1,532	32.4%	+83	+5.8%
営業利益又は営業損失(△)	126	2.7%	△78	—	△204	—
経常利益又は経常損失(△)	84	1.8%	△82	—	△167	—
親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失(△)	89	1.9%	△149	—	△238	—

プロジェクター向け製品の光学事業は、プロジェクター需要低迷の中でシェアアップにより増収
 機能性薄膜・ガラス事業は、データセンター投資の拡大により、顧客が当社偏光子と組み合わせて使うファラデー回転子が入手困難となり、偏光子の販売が激減。2025年11月より販売は回復したが、通期では減収

セグメント売上高(百万円)



光学事業

- セグメント利益: 211百万円(前期比 $\Delta 44.8\%$ ↓)
- プロジェクター用反射鏡
販売数量: $\Delta 6.3\%$ ↓ 売上高: $+2.9\%$ ↑
- フライアイレンズ
販売数量: $\Delta 9.3\%$ ↓ 売上高: $+5.1\%$ ↑
- プロジェクター需要が世界的に低迷し、反射鏡及びフライアイレンズの販売数量は減少したが、価格適正化により売上増

照明事業

- セグメント利益: 5百万円(前期 $\Delta 32$ 百万円)
- 自動車ヘッドライト・フォグライト用カバーガラスの売上減

機能性薄膜・ガラス事業

- セグメント利益: 2百万円(前期比 $\Delta 97.2\%$ ↓)
- ガラス偏光子の売上減、ガラス容器への加飾蒸着の売上増

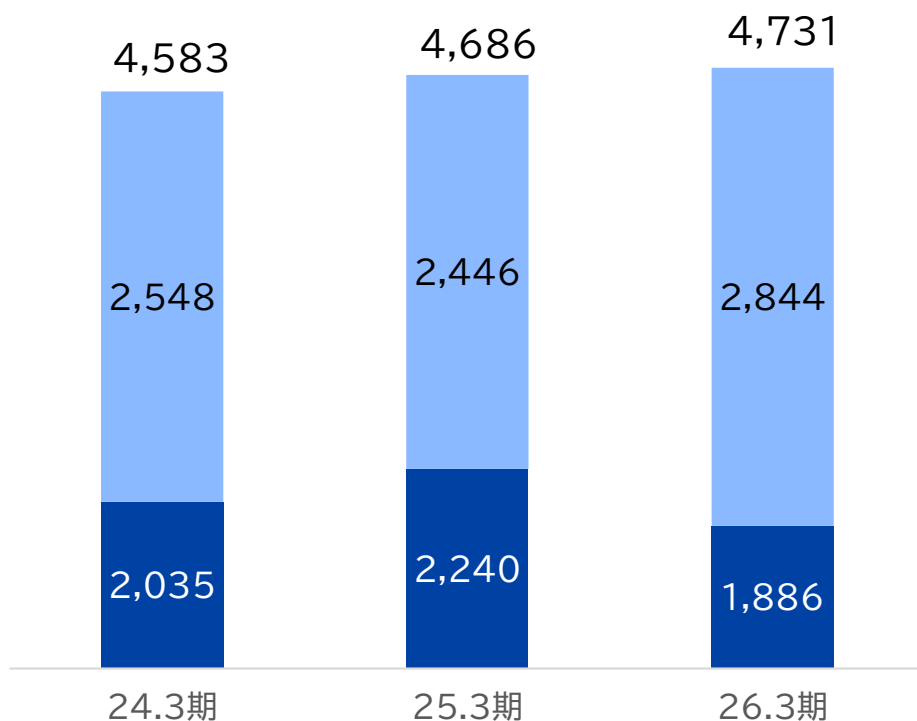
その他事業

- セグメント利益: 222百万円(前期比 $+23.0\%$ ↑)
- 「江戸っ子1号」などの海洋・特機の売上増

売上高は増加したが、フライアイレンズ生産用ガラス溶融炉の稼働による減価償却費の増加、比較的に利益率が高い偏光子の売上高が減少したことにより減益となった

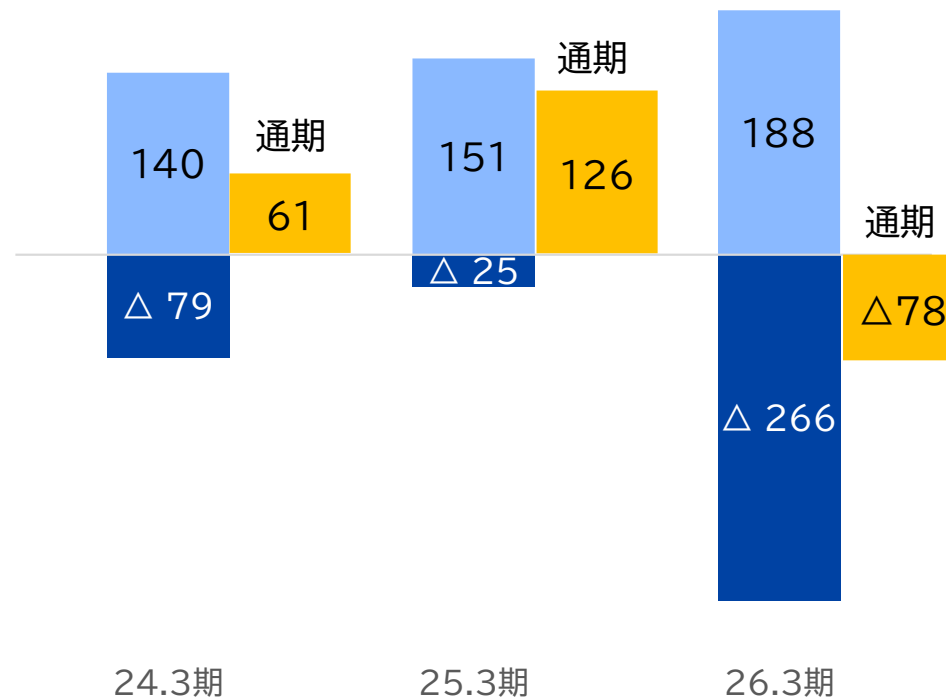
売上高 (百万円)

■ 上期 ■ 下期



営業利益 (百万円)

■ 上期 ■ 下期



新株予約権の発行とその行使による新株発行で954百万円調達し、流動資産が増加
通期601百万円の減価償却費などにより固定資産が減少

(単位:百万円)

	2025年3月期末	2026年3月期末	
	実績	実績	前期比増減率
流動資産	4,191	4,770	+13.8%
固定資産	4,488	3,975	△11.4%
資産合計	8,680	8,746	+0.8%
流動負債	3,106	1,990	△35.9%
固定負債	3,769	4,124	+9.4%
負債合計	6,876	6,114	△11.1%
純資産合計	1,803	2,631	+45.9%
負債純資産合計	8,680	8,746	+0.8%

営業利益はマイナスであったが、減価償却費の増加(前期比277百万円増)が主たる原因であり、営業活動によるキャッシュ・フローは、335百万円のプラス

(単位:百万円)

	2025年3月期末	2026年3月期末	
	実績	実績	前期比増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	370	335	△9.3%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△846	△251	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	617	241	△60.9%
現金及び現金同等物の期末残高	1,802	2,158	+19.8%

売上高の着地差よりも営業利益の着地差が大きいのは、経費削減が進んだことと、比較的、利益率の高い偏光子の売上回復が想定以上だったことによる

(単位:百万円)

	2026年2月13日公表予想		2026年3月期			
		構成比	実績	構成比	予想比 増減額	予想比 増減率
売上高	4,690	100.0%	4,731	100.0%	+41	+0.9%
営業利益又は営業損失(△)	△124	—	△78	—	+46	—
経常利益又は経常損失(△)	△121	—	△82	—	+39	—
親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失(△)	△134	—	△149	—	△15	—

差異の理由

反射鏡、フライアイレンズ、偏光子、海洋・特機などの売上高が想定より上回った

2. 2027年3月期 業績予想

放熱基板は、当社製品の採用増加による販売数量の遡増が2026年9月ごろより見込まれる
 偏光子は、製造ラインの増設による販売数量の倍増が2027年2月より見込まれる
 以上のことから、売上高、営業利益、経常利益いずれも増加する見通し

(単位:百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	予想	構成比
売上高	4,583	100.0%	4,686	100.0%	4,731	100.0%	5,547	100.0%
営業利益又は営業損失(△)	61	1.3%	126	2.7%	△78	—	192	3.5%
経常利益又は経常損失(△)	146	3.2%	84	1.8%	△82	—	123	2.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失(△)	101	2.2%	89	1.9%	△149	—	75	1.4%

上期

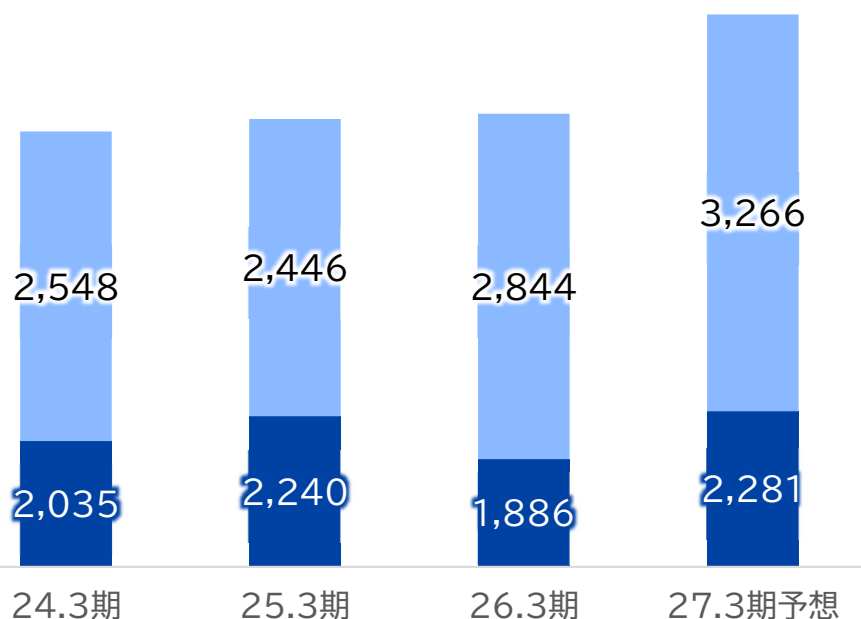
- 放熱基板について、2026年9月ごろから当社製品の採用増加による販売数量の逡増の見込み
- 減価償却費等の固定費が前年同期より減少の見込み

下期

- 増設ライン稼働により2027年2月からガラス偏光子の販売数量倍増の見込み
- 引き続き放熱基板の販売数量の逡増の見込み
- 減価償却費等の固定費が前年同期より減少の見込み

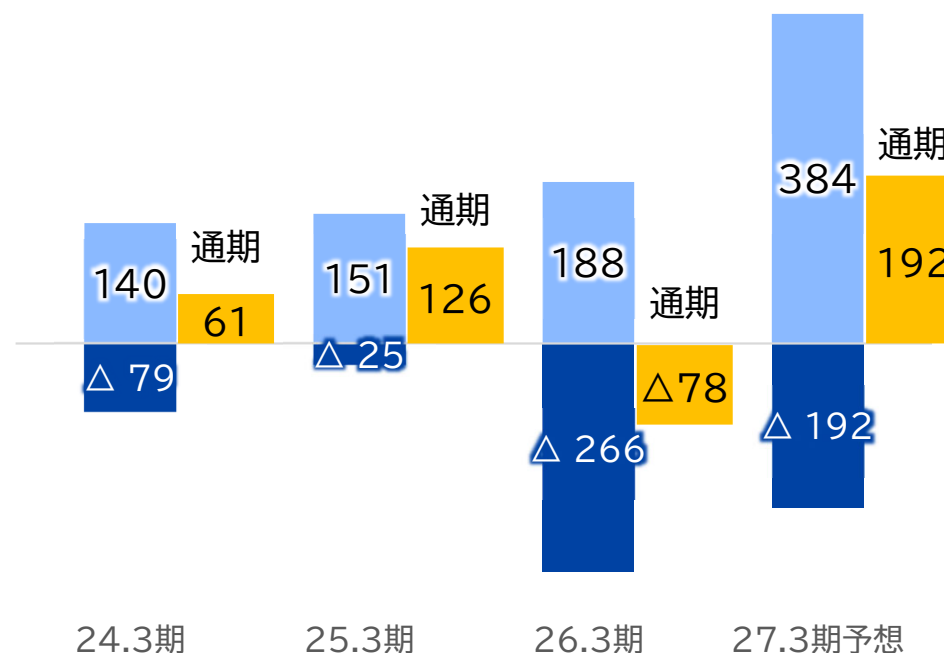
売上高 (百万円)

■ 上期 ■ 下期



営業利益 (百万円)

■ 上期 ■ 下期



2027年3月期年間配当金予想は無配

株主還元

無償減資と資本準備金からの振替で
2024年9月に繰越利益剰余金(単体)の欠損金を解消

今後は、適宜・適切な株主還元策を講じていきます

配当

2027年3月期 年間配当金予想は無配 (2026年5月15日公表値)

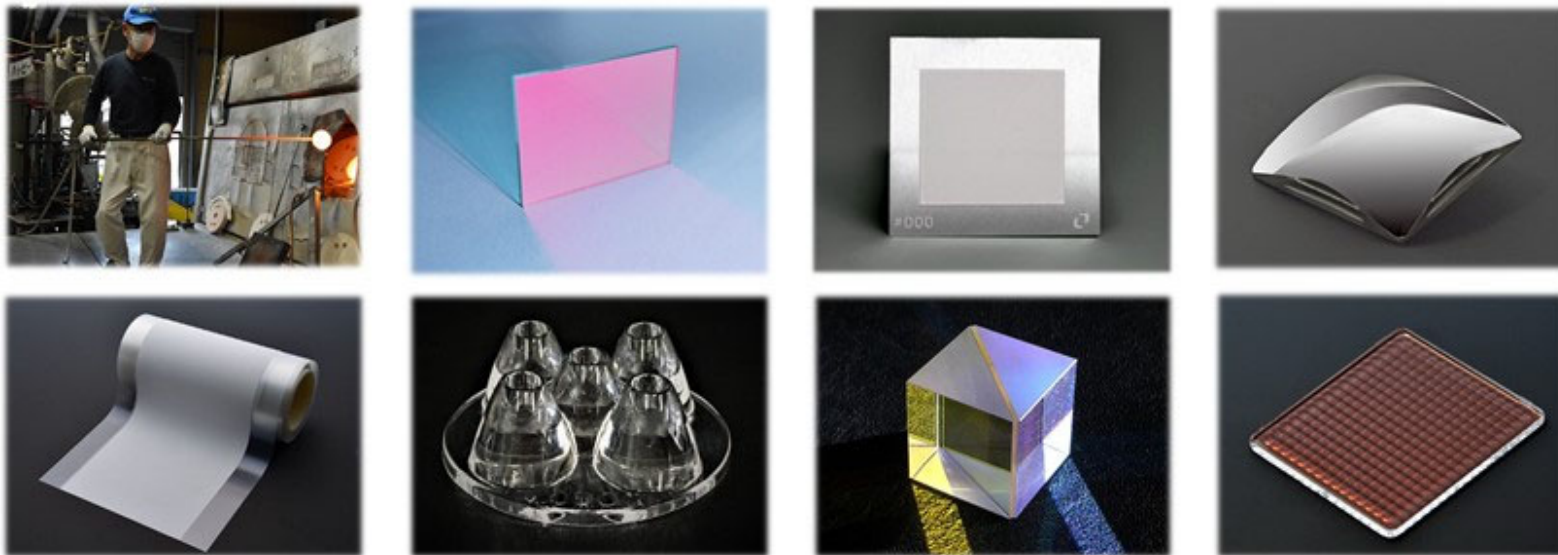
株主優待

【対象】 2026年3月末に1,000株以上保有の株主様

【内容】 illumiiro公式オンラインストアで使える
10%割引のクーポン券1枚 (6月末発送予定)



LIGHT UP THE FUTURE



本資料に記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる可能性を含んでおります。
このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。